

一で活躍する、4つのフィールド!

観察力を  
研ぎ澄まし  
最善の  
ケアを行おう!!

急性期

## 集中治療室

看護師 竹内 彩花

集中治療室で、手術や初療での治療を終えた患者様の急性期容態管理にあたっています。急変のリスクがあることから、異常を早期発見する観察力、状況に応じて機器を駆使しながら患者様の状態をアセスメントする力が重要です。あらゆる症状・疾患に対応するので新たな体験の連続ですが、常に「最善のケアができていたか」「患者様第一に考えることができていたか」を振り返り、改善すべき点は次の実践に反映することを意識しています。先輩のサポートも手厚く、着実に成長できる環境ですね。やりがいを感じるのは、病棟に転床された患者様が歩かれている姿などを見かけた時。皆で行ったケアが回復につながっていることを実感すると同時に、「早期に回復できるような関わり方ができるようになりたい」との思いが強くなります。

患者様の  
目線に  
立って  
復帰への  
懸け橋  
となる!!

急性期離脱期・回復期・慢性期

## 病棟

看護師 飯田 晋宏

病棟では、患者様の社会復帰を第一の目的とし、生活補助やリハビリテーションなどを行っています。何でも補助するのではなく、退院後の環境などあらゆる情報を統合しながら、患者様の残存機能を見極め、引き出すことが肝要です。そのうえで欠かせないのが、信頼関係を築くこと。その過程においては患者様の立場に立って考える姿勢やコミュニケーションが大切ですが、私の場合は前の職場である精神科で培ったコーチングスキルが役立っていますね。モットーは、万に一つの可能性であっても諦めず全力でケアをすること。その思いがあるからこそ、回復時には大きな喜びを感じることができるのだと思っています。研修制度が整い、自分の将来像を描ける環境。私は期待に応えることができる専門看護師を目指し、勉強しているところです。